

2020年(令和2年)7月28日(火曜日)

市民らが再開発事業への意見を述べた公聴会=三島市文教町の市民体育館で



再開発事業に賛否

三島駅南口 都市計画決定で公聴会

三島市が進めるJR三島駅南口東街区の再開発事業で、土地の使い方や建物の規模などを決める都市計画決定についての公聴会が二十七日、同市文教町の市民体育館であった。市民や利害関係者ら四十人が事業への賛否を述べた。

事業では一・二㌶の敷地に、高さ約九十㍍の高層マンションやホテル、商業施設、広域健康医療拠点を整備する予定。事業費二百億円のうち市負担は五十六億円で、残りは国や県の補助金、民間事業者の負担でまかなうとしている。

賛成派からは「カップルや中高生、主婦が立ち寄れるスポーツがほしい」「再開発地域を拠点に、災害に強い町づくりを進めて」「新型コロナウイルスの影響でテレワークが増えれば三島に人を呼ぶチャンス」など

と期待する意見が出た。

一方、反対する人たちは

「コロナ禍で医療拠点の機能見直しが必要」「開発事業者の利益を最優先にしており、公益性が高いとは思えない」「コロナの影響で税収が減る中、事業支出を回収できるのか再検討すべきだ」などと問題点を挙げていた。

公聴会は市民ら百人が傍聴。今回出た意見は十月の市都市計画審議会に反映される。今後は県との協議や都市計画案の縦覧などを経て、十一月に計画を定める予定。二〇二二年度から工事に入り、一五年度中の完成を見込む。(杉原雄介)